

ぼうさいてちょう

防災手帳

さいがい じぶん み まも
～災害から自分たちの身を守り
わたし
私たちにこれからできること

年 組 名前



防災記号

津波



がけくず

崖崩れ



洪水



どせきりゅう
土石流



災害での死者や負傷者

ふしょうしゃ

① 自然災害によって亡くなった世界の死者数の年間の人数

- ・1920年から1940年の間が一番多い
- ・年間で差が多い

② 負傷者の数

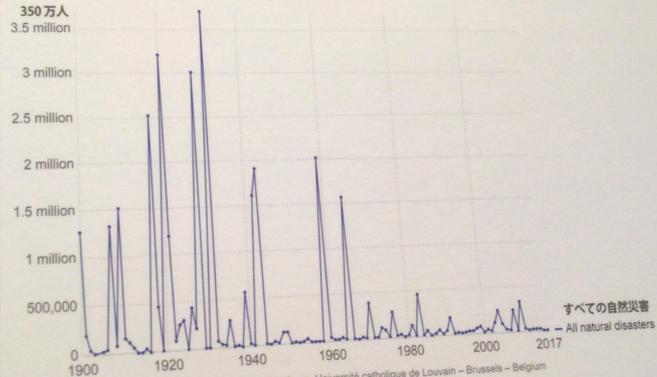
- ・最高で180万人以上の負傷者がいる
- ・年々死者数が増えてきている

死者数

自然災害によってなくなった世界の死者数の年間総数。

Number of deaths from natural disasters, All natural disasters

Absolute number of global deaths per year as a result of natural disasters. "All natural disasters" includes those from drought, floods, biological epidemics, extreme weather, extreme temperature, landslides, dry mass movements, extraterrestrial impacts, wildfires, volcanic activity and earthquakes.



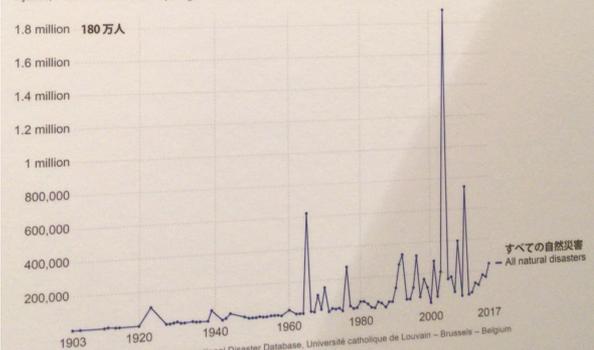
Source: EMDAT, OFDA/CRED International Disaster Database, Université catholique de Louvain - Brussels - Belgium
OurWorldinData.org/natural-catastrophes/ • CC BY-SA

負傷者の数

自然災害により負傷した人*の数。

Number injured from natural disasters, All natural disasters

Global number of people injured from natural disaster events. This is defined as "people suffering from physical injuries, trauma or an illness requiring immediate medical assistance as a direct result of a disaster."



Source: EMDAT (2017), OFDA/CRED International Disaster Database, Université catholique de Louvain - Brussels - Belgium
OurWorldinData.org/natural-catastrophes/ • CC BY-SA

防災バック

- かい中電灯
- ラジオ
- けい帯トイレ
- 衣類
- 水(1人3L)
- 防寒具
- 非常食(10日分)
- 貴重品(お金やスマホや身分証)
- 救急グッズ
- 手袋
- 薬、お薬手帳

準備できているものはしよう



〈災害が起きた時の行動〉

まず落下物に注意して必ず頭をま守る！（クッションやバッグを使用）

コンロやストーブの火は、ゆれがおさまってから落ち着いて止めよう！

エレベーターにいた場合:全部の階のボタンを押して止まった階で脱出する。

もし脱出できなかつたら非常ボタンなどで外部とれんらくをとりましょう。

屋外にいた場合:建物からはなれた広い場所へひなんする。

防災グッズをそろえる心がけ

1. 1年に2回はチェックする！

保存食などの賞味期限をチェックしたり、衣類を季節に合わせたものにしたりしよう！

2. 使い方を覚えよう！

かんいトイレや三角きんの使い方を覚えてなれておこう！
救急箱の中身も確認して、ケガの手当てもできるようにしておくことが大切！

3. 「自分の備え」に加えて「地域の備え」も

自分の備えだけでなく、自治体からのハザードマップや非常時の行動を確認しておこう！
地域の防災訓練にもせっきょくてきに参加しよう！



震災を語り継ぐ

- ・「神戸の絆^{きずな}ネットワーク」は、神戸市の職員ら約800人で2005年3月に活動を始めました。
- ・語り部派遣事業は、特定非営利活動法人（NPO法人）が中心となって全国で体験を語っています。



被害にあった建物

東日本大震災により、全国でこわれた建物は約13万と、なっている。

こわれた建物は地震だけではなくつなみや、土砂崩れなどでこわれている建物もあり、みやぎけんが一番被害にあっている

東日本大震災によって壊れた建物の数

	全壊	半壊	一部破損
北海道	0	4	7
青森県	308	701	958
岩手県	19,199	5,013	8,673
宮城県	85,311	151,719	224,225
秋田県	0	0	5
山形県	0	14	1,279
福島県	20,841	70,901	160,535
茨城県	2,632	24,176	185,178
栃木県	260	2,108	71,317
群馬県	0	7	17,675
埼玉県	24	198	16,397
千葉県	799	10,021	51,703
東京都	17	195	4,858
神奈川県	0	39	454
新潟県	0	0	17
山梨県	0	0	4
静岡県	0	0	13
合計	129,391	265,096	743,298

ハザードマップとは

ハザードマップはひなん場所
が書いてあるマップ

ひなんする所は**自分の家から
近い場所**や今自分がいる場所
から**1番近いところ**に行けばいい

事前にハザードマップを見てど
こに行けばいいかを**家族と相
談**することも大切

みんなの家にも多分あると思う
から探してみよう



まん

万が一に備え、 家族と話し合うこと

- ・避難経路と場所
- ・安否確認と連絡方法
- ・危険な箇所の確認
- ・防災バックの場所
- ・危険な場所のチェック



【災害が起こる前にしておくの良いこと】

- ・ハザードマップで周辺地域の災害リスクを調べておく
- ・オフライン環境でも使える地図アプリを用意する
- ・災害情報を集める方法を準備する
- ・家族とあんぴ確認の方法を共有する
- ・防災セットを用意する
- ・水、非常食、ラジオ、モバイルバッテリー、電池
かい中電灯、ローソク、ライター、缶切り